

## 「日本腎臓病薬物療法学会誌」 投稿規定

*The Japanese Journal of Nephrology and Pharmacotherapy: JJNP*

### 1. 投稿資格

筆頭著者は本学会員であることが必要である。但し、本学会から寄稿を依頼した場合は、この限りではない。

### 2. 論文内容

- ① 腎臓病薬物療法に関するもので、倫理的、科学的に適切に行われ、かつ未発表で他誌に投稿予定のないものとする。
- ② 論文の形式は総説、原著、短報、症例報告のいずれかで、各内容は以下の通りとする。
  - 1) 総説：一つまたは複数のテーマに関して、過去の論文をまとめ、解説したものとする。
  - 2) 原著：独創的研究により得られた新しい知見を含むものとする。
  - 3) 短報：断片的な研究ではあるが、新しい知見があり、かつ社会的にも重要であって迅速な報告が必要なものとする。
  - 4) 症例報告：自らが経験した症例に関する報告で、腎臓病薬物療法の臨床・研究に大きく寄与できるものとする。

### 3. 倫理

- ① ヒトを対象とする調査研究は、ヘルシンキ宣言<sup>1)</sup>の精神に基づき、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針<sup>2)</sup>」を遵守すること。
- ② 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を含む研究の場合は、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針<sup>2)</sup>」を遵守すること。
- ③ 動物実験を含む研究の場合は、「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針<sup>3)</sup>」を遵守すること。
- ④ いずれも最新の指針に基づき、遵守した倫理指針を本文中に明記すること。
- ⑤ 倫理審査委員会の承認を得た場合は、承認番号を明記すること。

1) ヘルシンキ宣言<和文> (世界医師会: 日本医師会訳)

<http://www.med.or.jp/wma/helsinki.html>

2) 研究に関する指針について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/>

3) 実験動物等の基本方針(文部科学省)

<http://www.lifescience.mext.go.jp/policies/dobutsu.html>

### 4. 投稿様式

- ① 論文は、和文または英文とする。
- ② 『日本腎臓病薬物療法学会誌執筆ガイドライン』(別紙)にしたがい作成すること。
- ③ 論文の構成は、「表題、著者氏名、所属名、要旨、キーワード、本文」とする。

- ④ 和文論文の場合は、別紙に英文による表題、著者名、所属名および要旨を記載し添付すること。英文論文の場合は別紙に要旨の和訳を記載し添付すること。
- ⑤ 英文論文は英語を母国語とする校閲者 (native speaker) の校閲を受け、その校閲者の名前・所属を署名すること。また、英文校閲業者による校閲を受ける場合は、その業者の発行する証明書を添付すること。当該英文の修正があった場合も原則として、修正後に再校閲を受け、署名または証明書を提出すること(署名、証明書等は全て pdf として事務局に送付)。なお、編集委員会で英文の校正が必要と判断した場合には、別途、その実費を著者に請求することがある。
- ⑥ 本文の末尾に利益相反 (conflict of interest; COI) について記載すること。
- ⑦ 投稿時は、学会ホームページに掲載している投稿申込書に必要事項を記載し、投稿規程チェックリストを確認の上、原稿とともに提出すること。

## 5. 掲載料

- ① 掲載料は無料とする。
- ② 別刷は 30 部贈呈するが、それ以上必要な場合は、著者校正返送時に 10 部単位で希望部数を朱書して申し込み、費用は著者の負担とする。50 部 (無料分 30 部を含む) までは一律 3,000 円 (税別) とし、それ以上は 50 部ごとに 2,000 円 (税別) とする。

## 6. 原稿の採択および校正

- ① 投稿論文の採否は、原則として 2 名以上の審査員の評価 (複数査読制) に基づき、編集委員会で決定する。
- ② 査読終了後の再投稿は、原則 60 日以内とし、それ以後は新規論文として扱うものとする。
- ③ 採択後の校正は、初校のみ著者に依頼するが、以後は編集委員会で行うものとする。著者による校正は、字句の訂正に止める。

## 7. 著作権および著作者の人格権

- ① 論文の内容については、著者が責任を負う。
- ② 共同研究の論文の場合は、著作権法第 64 条第 3 項の規定を適用し、共同著作物 (論文) の著作者の人格権を代表して行使される 1 名を選び、原稿論文の氏名の右上肩にアスタリスク (\*) を付ける。編集委員会は、この著者を論文内容、その他についての実質的な代表責任者とみなす。
- ③ 論文が受理された場合、著作権は本学会に委譲するものとする。

## 8. 利益相反

- ① 著作が開示する義務のある利益相反 (COI) は、投稿内容に関連する企業や営利を目的とする団体に関わるものであり、論文中に明示しなければならない。
- ② 具体的な内容については日本腎臓病薬物療法学会の定める「利益相反 (COI) に関する指針 (別表)」の中で該当するものを記載することとする。なお、申告すべきものがない場合は、「利益相反自己申告: 申告すべきものなし」と記載すること。

## 9. 二重投稿, 盗用, および捏造に対する罰則規定

- ① 二重投稿, 盗用, 捏造が認められた場合には掲載を取り消すことがある。
- ② 前項により掲載が取り消された場合, 当該論文の著者(共著者を含む)は取り消された日から5年間, 本誌への投稿ができないこととする。
- ③ 著者の雇用主や所属団体への告知および調査依頼などを行うことがある。

## 10. 原稿送付

原稿, チェックリスト, その他必要な書類はすべてeメールの添付書類として以下の送付先に送付すること。

「日本腎臓病薬物療法学会」事務局

e-mail: maf-jsnp@mynavi.jp

〒100-0003 千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル(株)毎日学術フォーラム内

TEL: 03-6267-4550, FAX: 03-6267-4555

## 11. 規定の改正

この規程を改正する場合は, 理事会の議を経なければならない。

## 付 則

1. 本規定は, 2011年12月1日から施行する。
2. 2012年2月1日 改訂
3. 2012年3月23日 改訂
4. 2012年4月4日 改訂
5. 2012年5月11日 改訂
6. 2012年5月15日 改訂
7. 2012年6月5日 改訂
8. 2013年10月12日 改訂
9. 2013年10月25日 改訂
10. 2014年6月13日改訂
11. 2016年5月1日改訂
12. 2016年7月1日改訂
13. 2017年7月1日改訂

## 別表

「日本腎臓病薬物療法学会誌利益相反 (Conflict of interest; COI) に関する指針」

- ★ 著者全員の前年 1 年間 (1 月 1 日～12 月 31 日) の利益相反 (COI) について, 下記の項目に該当する場合, 論文の本文末尾にその状況を記載すること。

### 記

- ① 講演料: 1 つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上
- ② 原稿料: 1 つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上
- ③ 報酬額: 1 つの企業・団体から年間 100 万円以上
- ④ 株式の利益: 1 つの企業から年間 100 万円以上, あるいは当該株式の 5% 以上保有
- ⑤ 特許使用料: 1 つにつき年間 100 万円以上
- ⑥ 研究費・助成金などの総額: 1 つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局 (講座, 分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が 200 万円以上
- ⑦ 奨学 (奨励) 寄付金などの総額: 1 つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局 (講座, 分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が 200 万円以上
- ⑧ 企業などが提供する寄附講座: (企業などからの寄附講座に所属している場合に記載)
- ⑨ その他: 研究とは直接無関係な旅行, 贈答品などの提供については, 1 つの企業・組織や団体から受けた総額が年間 5 万円以上とする

以上

2017年7月1日作成

2018年6月1日改訂

2018年9月1日改訂

## 1. 原稿の体裁

- ① 表紙には表題, 著者全員の氏名とその所属名が書かれていること。
- ② 表題は内容をよく表現する簡潔なものとし, 和文で 50 文字, 英文で 30 語以内とする。
- ③ 著者氏名の表記は「姓 名」または「First name Middle name Family name」の表記とする。なお, Middle name 以外は原則として省略しないこと。
- ④ 所属が 2 カ所以上の場合, 著者氏名の右肩に所属番号を付ける。  
所属番号は算用数字(1, 2, …)とする。
- ⑤ 責任著者(corresponding author)の氏名右肩にはアスタリスク(\*)を付けること。
- ⑥ 要旨(abstract)およびキーワード(key words)は表紙の次のページから記載すること。
- ⑦ 要旨は原則として背景・目的, 方法, 結果, 結論の各項目を含み, 簡潔にまとめられていること。  
なお, 項目(「目的」, 「結果」など)を見出しとしてつけないこと。
- ⑧ 要旨には引用文献や脚注の番号を付けないこと。
- ⑨ 要旨の文字数は, 和文で 800 字以内, 英文で 400 語以内とする。
- ⑩ キーワードは, 和文の場合は日本語で, 英文の場合は英語で 4 語以上 6 語以内とする。
- ⑪ 本文は要旨・キーワードの次のページから書くこと。
- ⑫ 本文は原則として, 緒言(Introduction), 方法(Materials and Methods), 結果(Results), 考察(Discussion), 利益相反 (Conflict of Interest), 引用文献(References)の構成で記載すること。  
ただし, 総説, 症例報告はこの限りではない。
- ⑬ 本文の総文字数は原則として以下の通りとする。ただし, 引用文献は含まない。
  - 1) 原著:和文 12,000 字,英文 6,000 語以内
  - 2) 総説:和文 20,000 字,英文 10,000 語以内
  - 3) 短報:和文 9,000 字,英文 4,500 語以内
  - 4) 症例報告:和文 4,000 字,英文 2,000 語以内
- ⑭ 表紙, 要旨(キーワードを含む), 本文および図表リスト(または, Legends)には表紙を「1」として一連のページ番号をつけること。
- ⑮ 図表, 写真は刷り上がりの面積あたり, 以下の文字数としてカウントする。なお, 面積はキャプション(図表のタイトル), 注記(legend)を含むものとする。
  - 1) 1 ページ全面(名刺 8 枚分の大きさ; 18.0×22.0 cm): 400 文字
  - 2) 1/2 ページ: 200 文字
  - 3) 1/4 ページ: 100 文字
  - 4) 9.0×5.5 cm (名刺サイズ): 50 文字
- ⑯ 本文および図表はそれぞれ別のファイルとして作成し, 図表は本文中に組み込まないこと。
- ⑰ 謝辞や追記などが必要な場合は利益相反の後, 引用文献の前に挿入すること。
- ⑱ 原稿は原則として, 印刷物ではなくファイルを電子メールに添付して事務局へ提出すること。

- ⑲ 和文論文においては英文の表題、著者全員の氏名・所属、要旨およびキーワードが書かれている別紙を、英文論文においては要旨およびキーワードの和訳を別紙(いずれもページは不要)として添付すること。なお、これらは DOC または DOCX ファイル(Microsoft Word のファイル)として作成すること。

## 2. 要旨、本文および図表の作成

- ① 和文、英文に限らず要旨および本文は A4 サイズの用紙に 12 ポイントのフォントを用い、24 行(または、ダブルスペース)で作製すること。
- ② 表紙、要旨、本文、図表リストは原則として DOC または DOCX ファイル(Microsoft Word のファイル)として作成すること。
- ③ フォントとは MS 明朝、ヒラギノ明朝、Times New Roman の使用が望ましい。ただし、図表・数式に関してはこの限りではない。
- ④ 要旨および本文中にはゴシック体、ボールド体を用いず、下線を引いてはならない(表題、見出し、図・表・式番号等については印刷時にゴシック体、ボールド体に変換される)。なお、図表・数式に関してはこの限りではない。
- ⑤ 図は PDF, TIFF または PNG ファイルとして作成すること。
- ⑥ 表は原則として DOC または DOCX ファイル(Microsoft Word のファイル)として作成すること。
- ⑦ 図表は刷り上がりの実寸(最大で 18.0×22.0 cm)で作成すること。
- ⑧ 図表で用いる文字は原則として 8 ポイント以上とする。
- ⑨ 図表は、A4 サイズ 1 枚に 1 点として作成すること。ただし、1 枚ずつ別ファイルにする必要はない(複数ページを 1 ファイルとしてもよい)。
- ⑩ 図および表には、本文に出てくる順にそれぞれ一連の番号を付け、この番号(図表番号)で本文中に言及箇所を明記すること。
- ⑪ 図表の番号、キャプションおよび注記は別紙にリストとして作成し、引用文献の後に「図表リスト(または、Legends)」として添付すること。
- ⑫ 本文中の図表を挿入する箇所に赤字で図表番号を示すこと。
- ⑬ 写真は鮮明なデジタルデータ(JPEG, BMP, TIFF 等)で投稿すること。掲載は原則としてモノクロとなる(カラー写真として掲載する場合は別途費用を請求する)。
- ⑭ 略語を用いる時は初出時、次の例に従い日本語表記またはスペルアウトを行い、以後は略語を用いること。ただし、別表にあげる略語についてはスペルアウトの必要はない。なお、要旨にも略語を用いることはできるが、本文で同じ略語を用いる場合でも本文の初出時には日本語表記またはスペルアウトを行うこと。
- 例1) アセトアミノフェン(APAP)
- 例2) European Best Practice Guidelines (EBPG)
- 例3) 生体電気インピーダンス法(body impedance analysis ; BIA)
- ⑮ 編集委員会で、学会誌としての統一上、術語・記号・図表の体裁を変更する場合がある。
- ⑯ 総説で既発表の図表を用いる時は、出典名を記入し、且つ著作権所有者の了解を得ること。
- ⑰ 人名・地名・薬品名は、日本語表記が一般的なもの以外は原則として英語表記を用いること。なお、日本で販売されている医薬品名については日本語表記とする。

- ⑱ 度量衡の単位は SI 基本単位 (kg, s, m, mol など), 一貫性のある SI 組立単位 (Pa, J,  $\Omega$ ,  $^{\circ}\text{C}$ , Sv など), および SI 併用単位 (L, min,  $^{\circ}$  など)とそれらに SI 接頭辞を付けたものを基本とする。なお, L を使用する場合は大文字表記とする。
- ⑲ 引用文献数は原著で 30 編以内, 短報・症例報告で 10 編以内とする。ただし, 総説では制限を設けない。
- ⑳ 本文の文献引用箇所には冒頭から順次番号 (片括弧算用数字の上付き) を付すこと。次の形式に従い, 本文の末尾に「引用文献」として引用順に一括して記載すること。
- 1) 書籍は, ①著者名 (最大 6 名:6 名を超える場合は和文表記なら「他」, 欧文表記なら「et al.」): ②論文名. ③編者名, ④書籍名. ⑤所在地: ⑥出版社名, ⑦発行年(西暦); ⑧初ページ数-終ページ数. の順に記載する。
 

例1) 平田純生: 透析患者の薬物適正使用. 西沢良記 編, 最新透析医学. 東京: 医薬ジャーナル, 2008; 502-506.

例2) Aronoff GR, Bennet WM, Berns JS, Brier ME, Kasbekar N, Mueller BA, et al.: Drug Prescribing in Renal Failure. Dosing Guidelines for Adults and Children. Fifth Edition. Philadelphia: American College of Physicians, 2007.
  - 2) 雑誌は, ①著者名 (最大 6 名:6 名を超える場合は和文表記なら「他」, 欧文表記なら「et al.」):②論文名. ③雑誌名 ④発行年(西暦); 巻数:初ページ数-終ページ. の順に記載する。ただし, 電子ジャーナルの場合は巻数とページ数の代わりにデジタルオブジェクト識別子 (DOI) を記載する。なお, 雑誌の略号は Index Medicus および医学中央雑誌(医学中央雑誌刊行会編)に準ずる。
 

例1) 平田純生, 和泉智, 古久保拓, 太田美由希, 藤田みのり, 山川智之: 血液透析による薬物除去率に影響する要因. 透析会誌 2004; 37: 1893-1900.

例2) Tsujimoto M, Higuchi K, Shima D, Yokota H, Furukubo T, Izumi S, et al.: Inhibitory effects of uraemic toxins 3-indoxyl sulfate and *p*-cresol on losartan metabolism *in vitro*. J Pharm Pharmacol 2010; 62: 133-138.

例3) Asma SO, Nouf MR, Hala AA, Nawal MR, Raeesa MA, Maha AA, et al.: Ruboxistaurin attenuates diabetic nephropathy via modulation of TGF- $\beta$  1/Smad and GRAP pathways. J Pharm Pharmacol 2016; DOI: 10.1111/jphp.12504.
  - 3) インターネットからの引用も引用文献として記載し, ホームページ名: ページタイトル, URL; 最終アクセス日. の順に記載する。
 

例) 日本腎臓病学会: 非典型用形成尿毒症症候群 (aHUS) 診療ガイド 2015, [https://cdn.jsn.or.jp/guideline/pdf/ahus\\_2016-2.pdf](https://cdn.jsn.or.jp/guideline/pdf/ahus_2016-2.pdf); 2017 年 10 月 1 日.

### 3. ガイドラインの作成および改正

このガイドラインは編集委員会が作成・改正する。

ACE	angiotensin converting enzyme	アンジオテンシン変換酵素
AIDS	acquired immunodeficiency syndrome	後天性免疫不全症候群
AKI	acute kidney injury	急性腎障害
ALP	alkaline phosphatase	アルカリホスファターゼ
ALT	alanine aminotransferase	アラニンアミノ基転移酵素
ANOVA	analysis of variance	分散分析
ARB	angiotensin II (type 1a) receptor blocker	アンジオテンシン II 受容体拮抗薬
AST	aspartate aminotransferase	アスパラギン酸アミノ基転移酵素
ATP	adenosine 5'-triphosphate	アデノシン三リン酸
AUC	area under the concentration-time curve	血中濃度-時間曲線下面積
BMI	body mass index	体格指数
BUN	blood urea nitrogen	血中尿素窒素
CKD	chronic kidney disease	慢性腎臓病
CPK (CK)	creatine phosphokinase	クレアチンホスホキナーゼ
CRP	C-reactive protein	C反応性蛋白
CYP	cytochrome P450	シトクロムP450
DNA	deoxyribonucleic acid	デオキシリボ核酸
eGFR	estimated glomerular filtration rate	推算糸球体濾過量
GC-MS	gas chromatography-mass spectrometry	ガスクロマトグラフィー-質量分析法
GFR	glomerular filtration rate	糸球体濾過量
HbA1c	hemoglobin A1c	ヘモグロビンA1c
HD	hemodialysis	血液透析
HDF	hemodiafiltration	血液透析濾過法
HDL	high-density lipoprotein	高密度リポタンパク質
HF	hemofiltration	血液濾過
HMG-CoA	hydroxymethylglutaryl-coenzyme A	ヒドロキシメチルグルタリルCoA
HPLC	high-performance liquid chromatography	高速液体クロマトグラフィー
LC-MS	liquid chromatography-mass spectrometry	液体クロマトグラフィー-質量分析法
LDH (LD)	lactate dehydrogenase	乳酸脱水素酵素
LDL	low-density lipoprotein	低密度リポタンパク質
MRI	magnetic resonance imaging	核磁気共鳴画像法
mRNA	messenger ribonucleic acid	メッセンジャーリボ核酸
NS	not significant	
OD	orally disintegrating	口腔内崩壊
PBR	protein binding rate	タンパク結合率
PCR	polymerase chain reaction	ポリメラーゼ連鎖反応
PD	peritoneal dialysis	腹膜透析
P-gp	P-glycoprotein	P糖タンパク質
PT-INR	prothrombin time-international normalized ratio	国際標準比プロトロンビン時間
QOL	quality of life	生活の質
RNA	ribonucleic acid	リボ核酸
RT-PCR	reverse transcription polymerase chain reaction	逆転写PCR法
Scr	serum creatinine	血清クレアチニン
$t_{1/2}$	elimination half-life	消失半減期
TDM	therapeutic drug monitoring	治療薬物モニタリング
$V_d$	distribution volume	分布容積
$\gamma$ -GTP ( $\gamma$ -GT)	$\gamma$ -glutamyl transpeptidase	$\gamma$ -グルタミルトランスペプチダーゼ